

- ICT活用工事は、**5要件**(起工測量、設計データ作成、ICT建機による施工、出来形管理等施工管理、電子納品)必須
- 小規模工事は、現ICT活用工事の取組内容(実施要領)では経費の面で乖離が大きいとの意見が多い
- **ICT未経験企業等**においても、ICTを**気軽に経験**することで、**更なる活用促進を促す**ため、5要件を必須とし、ICT建機を使わずともICT活用実績として認める「**中国 Light ICT**」を試行的に導入する。
- ICT活用によるメリットを体験していただくことで、地方公共団体発注工事も含めた**ICT活用工事の更なる拡大を目的**とした試行工事を行う。

中国LightICT活用工事

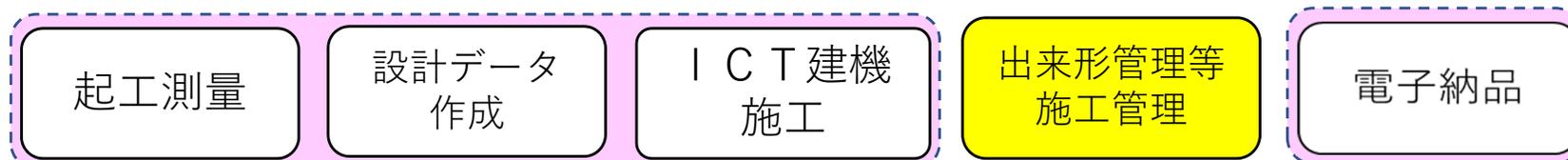
- 「**中国LightICT活用工事**」とは、ICT活用5要件(起工測量、設計データ作成、ICT建機による施工、出来形管理等施工管理、電子納品)のうち、「**出来形管理等施工管理**」を必須とし、**その他の活用を任意**とするもの。

必須実施項目
 選択実施項目

○ICT活用工事 5要件



○中国 Light ICT

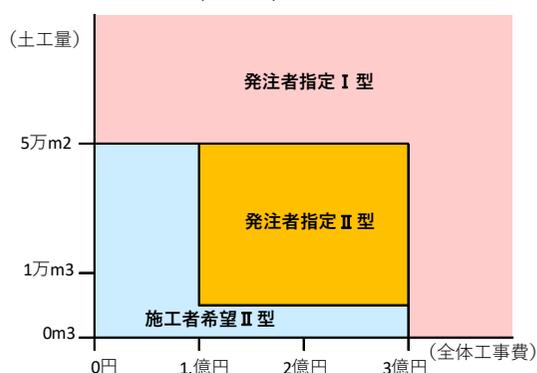


◇ICT活用を促進させるため、ICT土工の対象工事を拡大

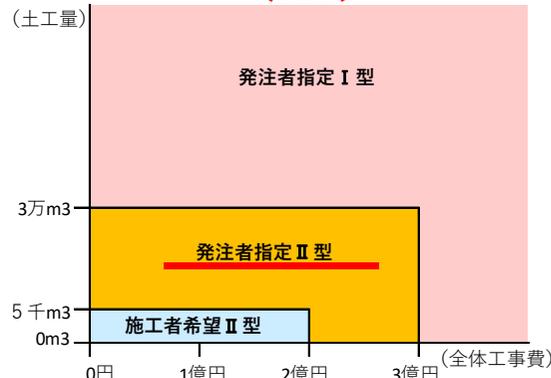
- 平成28年度よりi-Constructionにおける「ICTの全面的な活用（ICT土工）」の一層の普及推進を図るため、入札契約手続きとして「ICT活用工事（発注者指定型及び施工者希望Ⅰ・Ⅱ型）」を行っている。
- 令和元年度より、施工者希望Ⅱ型において中国LightICTの活用提案も工事成績において評価。
※中国Light ICT活用工事とは、5要件の内、出来形等施工管理を必須とし、その他を任意で実施出来る工事。
- 令和2年度より、**中国LightICT活用を必須としたうえで、ICT（5要件）活用を施工者が入札手続き時に提案できる、「発注者指定Ⅱ型」を新設し、令和3年度よりその適用範囲を拡大。**

発注方式イメージ

<R2>



<R3>



<関連工事>

ICT土工の関連工事として、受注者からの提案により下記をICTにより実施することができる。

- ・作業土工（床堀）、付帯構造物設置工

発注者指定Ⅱ型

- ・中国LightICT又はICT（5要件）どちらか一方を選択
- ・ICT（5要件）活用を選択した場合、総合評価で加点

○：必須 △：提案により実施 -：実施不可

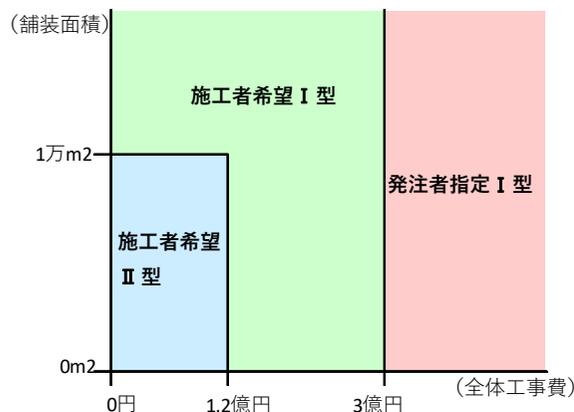
型式	対象工事	中国LightICT	ICT(5要件)活用	総合評価	工事成績	ペナルティ
発注者指定Ⅰ型	3億円以上の土工工事または土工量 3万m³以上 の工事 発注者がICT(5要件)活用を指定	- (不可)	○ 必須	加点点評価なし。	創意工夫で評価。	工事成績評価において減点(契約違反)
発注者指定Ⅱ型	3億円未満かつ土工量5千m³以上3万m³未満又は2億円以上3億円未満かつ土工量3万m³未満の工事 発注者が中国LightICT活用を指定 入札手続き時にICT(5要件)活用の提案が可能	○ 必須	△ 入札参加時提案により実施	ICT活用(5要件)提案がある場合、技術者の技術力等において加点。(3点)	創意工夫で評価。	工事成績評価において減点。 ・ICT(5要件)提案有→ICT(5要件)未実施で履行義務違反 ・ICT(5要件)提案無→中国LightICT未実施で契約違反
施工者希望Ⅱ型	2億円未満で土工量5千m³未満 契約後、受注者の提案により実施可能	△ 契約後提案により実施	△ 契約後提案により実施	加点点評価なし。	創意工夫で評価。	なし

【多様な発注方式】ICT活用工事の促進【ICT舗装】 【見直し】

◇ICT活用を促進させるため、ICT舗装の対象工事を拡大

- 平成29年度よりi-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」の一層の普及推進を図るため、ICT舗装を追加。入札契約手続きとして「ICT活用工事（発注者指定型及び施工者希望 I・II型）」を行っている。
- 令和元年度より、**施工者希望 II型**において中国LightICTの活用提案も工事成績において評価を行う。
※中国Light ICT活用工事とは、5要件の内、出来形等施工管理を必須とし、その他を任意で実施出来る工事。
- 令和2年度より、**施工者希望 I型**の適用範囲を1.2億円以上に拡大
- 令和3年度より、**中国LightICT活用を必須としたうえで、ICT(5要件)活用を施工者が入札手続き時に提案できる、「発注者指定 II型」を新設する。**

発注方式イメージ <R2>



<R3>



<関連工事>
ICT舗装の関連工事として、受注者からの提案により下記をICTにより実施することができる。
・付帯構造物設置工

発注者指定 II型

- ・中国LightICT又はICT(5要件)どちらか一方を選択
- ・ICT(5要件)活用を選択した場合、総合評価で加点

○:必須 △:提案により実施 -:実施不可

型式	対象工事	中国LightICT	ICT(5要件)活用	総合評価	工事成績	ペナルティ
発注者指定 I型	3億円以上の工事 発注者がICT活用を指定	- (不可)	○ 必須	加点评価なし。	創意工夫 で評価。	工事成績評価において減点(契約違反)
発注者指定 II型	1.2億円以上3億円未満の工事 入札手続き時における活用提案により発注者が中国LightICT活用を指定 入札手続き時にICT(5要件)活用の提案が可能	○ 必須	△ 入札参加時 提案により実施	ICT活用(5要件)提案がある場合、 技術者の技術力等において加点。 (3点)	創意工夫 で評価	工事成績評価において減点。 ・ICT(5要件)提案有→ICT(5要件)未実施で履行義務違反 ・ICT(5要件)提案無→中国LightICT未実施で契約違反
施工者希望 I型	1.2億円未満かつ舗装面積1万m2以上の工事 入札手続き時における活用提案により実施	△ 契約後 提案により実施	△ 入札参加時 提案により実施	ICT活用(5要件)提案がある場合、 技術者の技術力等において加点。 (3点)	創意工夫 で評価。	工事成績評価において減点(履行義務違反)
施工者希望 II型	1.2億円未満で舗装面積1万m2未満の工事 契約後、受注者の提案で実施可能	△ 契約後 提案により実施	△ 契約後 提案により実施	加点评価なし。	創意工夫 で評価。	なし

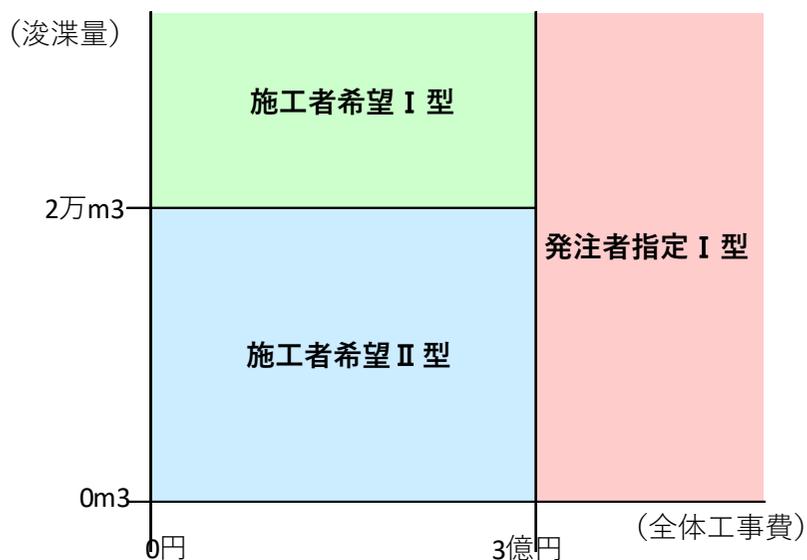
【多様な発注方式】ICT活用工事【ICT河川浚渫】

■平成29年度よりi-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」の一層の普及推進を図るため、ICT舗装を追加。入札契約手続きとして「ICT活用工事（発注者指定型及び施工者希望Ⅰ・Ⅱ型）」を行っている。

■令和元年度より、**施工者希望Ⅱ型**において中国Light ICTの活用提案も工事成績において評価を行う。

※中国Light ICT活用工事とは、5要件の内、出来形等施工管理を必須とし、その他を任意で実施出来る工事。

発注方式イメージ



型式	平成30年度～運用
発注者指定Ⅰ型	3億円以上で浚渫量2万m ³ 以上の工事の中から試行的に実施
施工者希望Ⅰ型	3億円未満で浚渫量2万m ³ 以上を目安として各事務所で設定
施工者希望Ⅱ型	3億円未満で浚渫量2万m ³ 未満を目安として各事務所で設定

型式	総合評価	工事成績	ペナルティ
発注者指定Ⅰ型	加點評価なし。	創意工夫において評価。	工事成績評定において減點(契約違反)
施工者希望Ⅰ型	ICT活用提案がある場合、技術者の技術力等において加點。(3点)	創意工夫において評価。	工事成績評定において減點。(履行義務違反)
施工者希望Ⅱ型	加點評価なし。	創意工夫において評価。	なし

◇ICT活用を促進させるため、ICT地盤改良の対象工事を拡大

- 平成31年度より、i-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」の一層の普及推進を図るため、ICT地盤改良を追加。
- 令和3年度より、予定価格3億円以上の工事において、施工者希望 I 型を実施する。

発注方式イメージ <R2>



<R3>



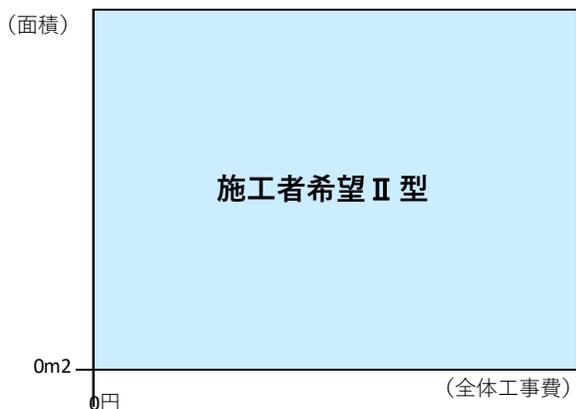
型式	対象工事	中国 LightICT	ICT(5要件)活用	総合評価	工事成績	ペナルティ
発注者指定 I 型	—	—	—	—	—	—
施工者希望 I 型	3. 0億円以上の工事 入札手続き時における活用提案により実施	△ 契約後提案により実施	△ 入札参加時提案により実施	ICT活用(5要件)提案がある場合、技術者の技術力等において加点。(3点)	創意工夫で評価。	工事成績評定において減点(履行義務違反)
施工者希望 II 型	3億円未満の工事 契約後、受注者の提案で実施可能	△ 契約後提案により実施	△ 契約後提案により実施	加点評価なし。	創意工夫で評価。	なし

◇ICT活用を促進させるため、ICT法面工の対象工事を拡大

- 令和2年度より、i-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」の一層の普及推進を図るため、ICT法面工を追加。
- ICT法面工においては、ICT建設機械がないことから、施工プロセスのうち、3次元の起工測量・設計データ作成・出来形管理等の施工管理・納品を実施する事で、ICT活用工事の実績とする。
- 令和3年度より、予定価格3億円以上の工事において、**施工者希望 I 型**を実施する。

発注方式イメージ

<R2>



<R3>



- ICT施工プロセス:
- ① 3次元起工測量
 - ② 3次元設計データの作成
 - ③ 該当なし
 - ④ 3次元出来形管理等の施工管理
 - ⑤ 3次元データの納品

<ICT法面工対象種別>

- ・植生工(種子散布・張芝・筋芝・植生シート・植生マット・植生筋・人工張芝・植生穴・植生基材吹付)
- ・吹付工(コンクリート吹付・モルタル吹付)
- ・法枠工(吹付枠)

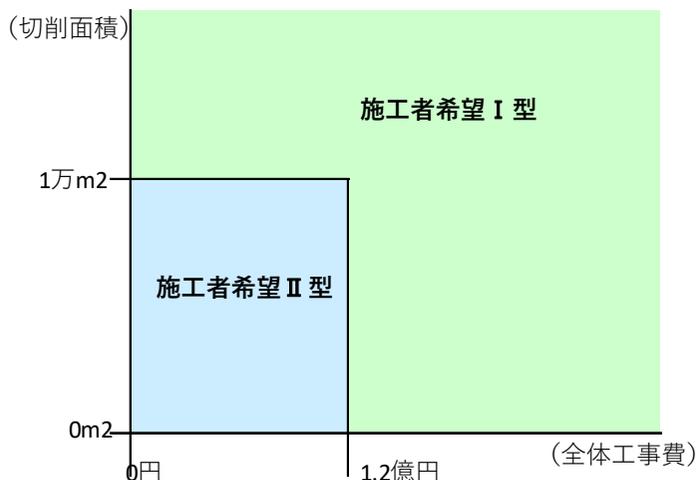
型式	対象工事	中国 LightICT	ICT(5要件)活用	総合評価	工事成績	ペナルティ
発注者指定 I 型	—	—	—	—	—	—
施工者希望 I 型	3.0億円以上の工事 入札手続き時における活用提案により実施	△ 契約後提案により実施	△ 入札参加時提案により実施	ICT活用(①②④⑤全て)提案がある場合、技術者の技術力等において加点。(3点)	創意工夫で評価。	工事成績評価において減点(履行義務違反)
施工者希望 II 型	3億円未満の工事 契約後、受注者の提案で実施可能	△ 契約後提案により実施	△ 契約後提案により実施	加点評価なし。	創意工夫で評価。	なし

- 令和2年度よりi-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」の一層の普及推進を図るため、ICT舗装修繕を追加。入札契約手続きとして「ICT活用工事（施工者希望 I・II 型）」を行う。
- ICT舗装修繕は、ICT建設機械による施工、従来型建設機械を選択し活用することができる。
- ICT舗装修繕においては、施工管理システムを搭載したICT建設機械により出来形管理を行うため、従来型建設機械により施工を行う場合は、出来形管理も従来手法により行う。

発注方式イメージ

対象： 切削オーバーレイ工

- ICT施工プロセス：
- ①3次元起工測量
 - ②3次元設計データの作成
 - ③ICT建設機械による施工（施工管理システム）
 - ④3次元出来形管理等の施工管理
 - ⑤3次元データの納品



型式	運用
発注者指定 I 型	—
施工者希望 I 型	1. 2億円以上又は切削面積1万㎡以上を目安として各事務所で設定（発注等級をアスファルト舗装A等級単独の場合に適用）
施工者希望 II 型	1. 2億円未満かつ切削面積1万㎡未満を目安として各事務所で設定（発注等級をアスファルト舗装B等級を含む場合に適用）

型式	総合評価	工事成績	ペナルティ
施工者希望 I 型	ICT活用提案(5要件①②③④⑤)がある場合、技術者の能力等において加点。(3点)	創意工夫において評価。	工事成績評価において減点。(履行義務違反)
	ICT活用提案(3要件①②⑤)がある場合、技術者の能力等において加点。(2点)	創意工夫において評価。 (中国LightICT相当)	工事成績評価において減点。(履行義務違反)
施工者希望 II 型	加点評価なし。	創意工夫において評価。	なし